

今日のトピック 米国ハイールド債券市場の動向と見通し ハイールド債券市場は明るさを増す展開へ

ポイント1 2月中旬以降堅調な展開

原油価格の反発がプラスへ

- 米国ハイールド債券指数は、年初来安値となった2月11日から4月26日で12%上昇しました。原油価格（ウエスト・テキサス・インターメディアート、WTI）の反発などを受け、エネルギーセクターが回復傾向を強めたことなどが背景です。

ポイント2 株式市場にも好影響

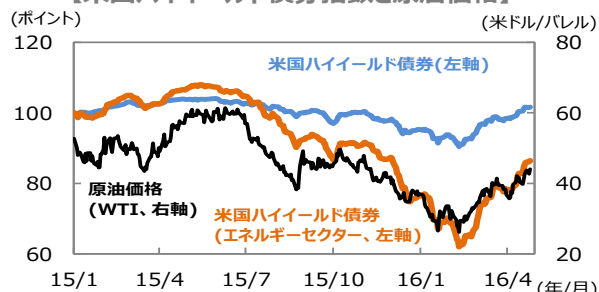
リスク回避の動きは大きく後退

- 原油価格の反発などがリスク回避姿勢の後退につながりました。ハイールド債券市場の回復に加え、米国株式市場(S&P500)も堅調さを取り戻しました。

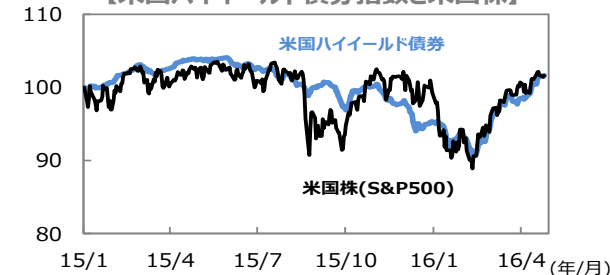
今後の展開 デフォルト率はいずれ低下か

- 堅調さを取り戻しつつあるハイールド債券市場ですが、2015年に入ってデフォルト率が上昇傾向にある点に注意が必要です。これは、原油価格の下落が長期化しつつあり、財務体質が悪い石油企業のデフォルトが増加したためです。
- 原油価格は、振幅はあるものの、今後は緩やかな上昇が期待できそうです。中国経済の失速懸念が後退したことや米国経済の拡大基調の持続を背景に、需給バランスが改善に向かうと見られるためです。
- デフォルト率は、いずれ低下すると思われます。ハイールド債券の利回りとデフォルト率を見ると、約2カ月程度、利回りが先行しています。市場はデフォルトリスクをある程度織り込みながら推移するため、エネルギーセクターの利回りの大幅な低下は、原油価格の回復に対する期待と、今後のデフォルト率の低下を示唆するものと考えられます。

【米国ハイールド債券指数と原油価格】

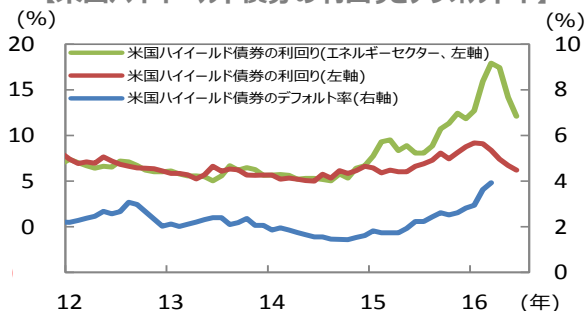


【米国ハイールド債券指数と米国株】



(注) データは2015年1月2日～2016年4月26日。ハイールド債券はBofA Merrill Lynch 米国ハイールド マスター II 指数(トータルリターン)。原油価格以外は2015年1月2日を100として指数化。
(出所) BofA Merrill Lynch, Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【米国ハイールド債券の利回りとデフォルト率】



(注1) データ：米国ハイールド債券のデフォルト率は2012年1月～2016年3月。米国ハイールド債券、同エネルギーセクターの利回りは2012年1月～2016年4月。グラフ中の利回りは2カ月先行。
(注2) デフォルト率は、過去12カ月間に米国ハイールド債券市場でデフォルトした銘柄数の割合を発行体ベースで集計したもの。
(出所) JPモルガン、BofA Merrill Lynchのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2016年4月13日 米国の債券市場 (2016年4月)
2016年4月 7日 米国のISM景況感指数 (2016年3月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。